

## 「JENESYS2.0」

### 中国高校生訪日団第1陣

訪問日程 平成25年11月19日（火）～11月27日（水）

#### 1 プログラム概要

中国日本友好協会が派遣した中国高校生訪日団第1陣計62名が、11月19日から11月27日までの8泊9日の日程で来日しました。（総団長＝王秀雲（オウ・シュウウン）中国日本友好協会・副会長、団長＝張孝萍（チョウ・コウヘイ）中国日本友好協会・政治交流部副部長）

本事業は「JENESYS2.0」の一環として行われ、訪日団は、東京をはじめ、京都府、滋賀県、大阪府を訪問し、「クールジャパン」を含め、さまざまな分野における日本の魅力、強みを体感したほか、京都府・滋賀県に於ける学校交流やホームステイ等を通じて、日本の高校生や一般市民との友好交流と相互理解を深めました。

#### 2 日程

##### 11月19日（火）

成田国際空港より入国、皇居・二重橋見学、オリエンテーション

##### 11月20日（水）

外務省訪問、介護分野における日本の技術活用に関するセミナー、国会議事堂視察、東京タワー見学、歓迎会

##### 11月21日（木）

京都へ移動、金閣寺見学、日本文化体験（河村能舞台）

##### 11月22日（金）

京都府教育委員会表敬訪問

学校交流（京都府立城南菱創高校、京都府立西乙訓高校、京都府立山城高校

京都市立日吉ヶ丘高校、京都府立桃山高校）、ホームステイ（京都府、滋賀県）

##### 11月23日（土）

ホームステイ（京都府、滋賀県）、ホームステイ解散式、和風温泉旅館で日本文化体験

##### 11月24日（日）

嵐山参観、京都国際マンガミュージアム視察、大阪へ移動、ATCエイジレスセンター視察

##### 11月25日（月）

パナソニックセンター大阪視察、大阪市環境局舞洲工場視察、商業施設視察

##### 11月26日（火）

大阪城見学、大阪市立阿倍野防災センター視察、大阪府見学、企業視察（ダイハツ工業株式会社工場見学・ヒューモビリティワールド館）、歓送報告会

##### 11月27日（水）

関西国際空港より帰国

### 3 写真

	
<p>11月19日 皇居二重橋見学（東京都）</p>	<p>11月19日 オリエンテーション（東京都）</p>
<p>11月19日 参観皇居二重橋(東京都)</p>	<p>11月19日 説明会(東京都)</p>
	
<p>11月20日 外務省訪問 木原誠二外務大臣政務官から挨拶（東京都）</p>	<p>11月20日 関口史郎（公社）かながわ福祉サービス振興会介護ロボット推進課課長によるセミナー（東京都）</p>
<p>11月20日 访问外务省 由木原诚二外务大臣政務官致词(東京都)</p>	<p>11月20日 関口史郎（公社）神奈川福祉サービス振興会介護用ロボット推進課課長講座（東京都）</p>
	
<p>11月20日 セミナー質疑応答（東京都）</p>	<p>11月20日 国会議事堂視察（東京都）</p>
<p>11月20日 講座提问（東京都）</p>	<p>11月20日 观摩国会议事堂(東京都)</p>

	
<p>11月20日 歓迎会 安倍昭恵内閣総理大臣令夫人と日中の高校生ら（東京都）</p>	<p>11月20日 歓迎会 程永華中華人民共和国駐日本国特命全権大使の挨拶（東京都）</p>
<p>11月20日 欢迎会 安倍昭恵内閣总理大臣令夫人与中日高中生(東京都)</p>	<p>11月20日 欢迎会程永华中华人民共和国驻日本国特命全权大使致词(東京都)</p>
	
<p>11月21日 金閣寺見学（京都府）</p>	<p>11月21日 河村能舞台で能の体験（京都府）</p>
<p>11月21日 参观金阁寺（京都府）</p>	<p>11月21日 在河村能舞台体验能文化(京都府)</p>
	
<p>11月22日 京都府教育委員会表敬訪問（京都府）</p>	<p>11月22日 京都府表敬訪問 張孝萍団長と小田垣勉京都府教育委員会教育長（京都府）</p>
<p>11月22日 拜会京都府教育委員会(京都府)</p>	<p>11月22日 拜会京都府教育委員会 張孝萍団長与小田垣勉京都府教育委員会教育長(京都府)</p>



11月22日 京都府立城南菱創高校訪問・交流  
(京都府)

11月22日 访问京都府立城南菱創高中，交流  
(京都府)



11月22日 京都府立西乙訓高校訪問・交流  
(京都府)

11月22日 访问京都府立西乙訓高中，交流  
(京都府)



11月22日 京都府立山城高校訪問・交流  
(京都府)

11月22日 访问京都府立山城高中，交流  
(京都府)



11月22日 京都市立日吉ヶ丘高校訪問・交流  
(京都府)

11月22日 访问京都市立日吉之丘高中，交流  
(京都府)



11月22日 京都府立桃山高校訪問・交流  
(京都府)

11月22日 访问京都府立桃山高中，交流  
(京都府)



11月23日 ホームステイ解散式 (京都府)

11月23日 寄宿家庭欢送会 (京都府)

	
<p>11月23日 滋賀県日野町で農家民泊体験</p>	<p>11月23日 ホームステイ解散式(滋賀県日野町)</p>
<p>11月23日 体験农活和民宿(滋賀县日野町)</p>	<p>11月23日 寄宿家庭欢送会(滋賀县日野町)</p>
	
<p>11月23日 和風温泉旅館で日本文化体験 (滋賀県)</p>	<p>11月24日 京都国際マンガミュージアム視察 (京都府)</p>
<p>11月23日 在日式温泉旅馆体验日本文化 (滋賀县)</p>	<p>11月24日 观摩京都国际漫画博物馆(京都府)</p>
	
<p>11月24日 嵐山、周恩来元総理詩碑見学 (京都府)</p>	<p>11月24日 ATC エイジレスセンター視察 (大阪府)</p>
<p>11月24日 参观岚山、周恩来总理诗碑(京都府)</p>	<p>11月24日 观摩ATC 忘年中心(大阪府)</p>

	
<p>11月25日 パナソニックセンター大阪視察 (大阪府)</p>	<p>11月25日 大阪市環境局舞洲工場視察 (大阪府)</p>
<p>11月25日 观摩Panasonic Center 大阪 (大阪府)</p>	<p>11月25日 观摩大阪市环境局舞洲工厂 (大阪府)</p>
	
<p>11月26日 大阪城見学 (大阪府)</p>	<p>11月26日 大阪市立阿倍野防災センター視察 (大阪府)</p>
<p>11月26日 参观大阪城 (大阪府)</p>	<p>11月26日 观摩大阪市立阿倍野防灾中心 (大阪府)</p>
	
<p>11月26日 ダイハツ工業株式会社 工場、ヒューモビリティワールド館視察 (大阪府)</p>	<p>11月25日 歓送報告会 訪日成果報告 (大阪府)</p>
<p>11月25日 观摩大发(DAIHATSU)工业株式会社 工厂・Humobility World 馆 (大阪府)</p>	<p>11月25日 在欢送报告会汇报访日成果 (大阪府)</p>

#### 4 中国高校生の感想（抜粋）

○高一の一学期、私は幸運にも JENESYS2.0 の訪日プログラムに参加することができた。多くのハイテクエリアを見学し、いろいろな日本食を食べたが、中でも一番忘れられないのは、日本の高校を見学し、学生の家にもホームステイしたことだ。学校訪問では、日本の学校の文化に触れ、授業を体験し、中国との違いや日本独自の内容などを、身を持って感じることができた。私達は、英語、数学、体育のクラスに分かれて、日本の学生と一緒に授業に参加した。言葉は通じなかったが、お互いに笑顔で友好の気持ちを表し、すぐに溶け込むことができた。日本の学生の、授業の時の礼儀は中国とは違っていた。そして、彼らは規則もきちんと守っていた。

学校訪問後、日本の学生の家にお邪魔し、ホームステイ体験が始まった。最初はとても緊張し、行きたくないような気持ちにさえなった。外国人の家に泊まるのだ。どうしたって緊張する。でも家に着いてみると、日本人はとても親切で、私を好きになってくれた。おかげで私も緊張が解け、中国の文化や食べ物を紹介して、一緒に楽しく話をした。言葉が通じないことで、かえって交流が楽しくなる場面もあった。お互い意味が分からないと、文字や絵を描いたり、ボディランゲージを使ったりしたのだが、時にそれがとても滑稽で楽しかったのだ。そうしてずっと笑って過ごした楽しい時間は、あっという間に過ぎた。別れはお互いにとても辛かった。最初の緊張と行きたくないような気持ちは、最後には別れたくない気持ちに変わっていた。友情の印だ。

帰国したら、家族や友達に、日本の風土や人情、学校の様子、日本人の親しみやすさや、親切さを伝えたい。そして、彼らにも日本を理解してもらい、日本独特の素晴らしい景色を感じてほしい。

○今回の友好訪問で一番印象深かったのは、日本の学生との交流だ。初めはとても緊張した。なぜなら言葉が通じないからだ。何を話したらいいのかぜんぜん分からなかった。でも日本の学生はやさしくて、のびのびしていて、すぐに私の緊張をほぐしてくれた。交流はとても楽しかった。日本と中国は文化に違いがあるので、お互いに聞きたいことがどんどん出てきて質問が止まらなかった。その晩のホームステイでは、日本の家庭で交流し、日本についてより深く知ることができた。

翌日は、ホストファミリーが私を連れて、他の数名の団員達と駅で合流し、一緒に清水寺へ行った。歩きながらいろいろなことを話して、笑い合い、友情が深まった。最後に、お互いのアドレスを交換した。別れが辛くて泣いている学生もいた。

帰国したら、周りのクラスメートたちに、日本の文化や日本人との交流、生活の様子を話し、彼らの日本に対する良くないイメージを変えたいと思う。

日本と中国の関係が良くなり、早く元の状態に戻りますように。一緒に力を合わせて、素晴らしい未来を築いていこう！

○今回の訪問で、日本の進んだ科学技術や、さまざまな先進設備、そして、人にやさしい施設を見学することができた。特に ATC エイジレスセンターや、パナソニックが開発したさまざまな生活実用製品に、日本の進んだ科学技術を実感した。科学技術の面だけでなく、日本は教育の面でも開放的だ。クラブ活動もとても豊富で、あらゆる面から学生の素質を

伸ばしている。

一番印象深かったのはホームステイだ。日本の若者はとても親切で、中国の学生に対して全く拒絶反応を示さなかった。何か良いものがあると、全部出してきて分けてくれた。そして友達をとても大切にする。最後のお別れ会の時、あの日本の学生が私の手を2分間もしっかりと握ってくれたように。あの光景を私は一生忘れない。

○学校訪問の時、日本の学生はクラブ活動にとっても意欲的だと思った。中国とは全く違う。中国の学生は、大抵夜6時か7時には家に帰って勉強する。しかし同じ頃、日本の学生はまだまだクラブ活動に忙しい。野球場にはバッティングの音が響いているし、体育館には明かりが煌々と灯っている。学校の玄関には靴がびっしりと並び、置ききれない靴が廊下にまであふれている。彼らの自主性と情熱に、私はとても驚かされた。中国の学生にも、もしもこんなふうに自主的にクラブ活動に参加することが許されたなら、きっと学生の精神世界はもっと豊かになるに違いない。

○今回の訪日プログラムを通じて、私は日本に対して新しい発見をした。

都市の環境保護とごみの分別にとっても啓発されたし、日本人のやさしさと礼儀正しさにも感銘を受けた。また、日本人は何をするにも時間に正確で、そのことにも感動した。

ホストファミリーはとても親切で、本当の家族のように私に接してくれた。最初の緊張は、最後には別れたくない気持ちに変わった。言葉の問題はあったが、お互いに一生懸命頑張って交流し、日本の家庭の本当の姿を知ることができた。一緒に過ごせた時間は短くあっという間で、別れの時には涙が止まらなかった。でも、別れても友情は決して途切れることはない。彼女たちに北京に来てもらい、本当の中国を理解してほしいと思う。

日本のハイテク技術と、国民の資質の高さは、深く印象に残った。

今回の訪問はきっと忘れられない経験になるだろう。

○今回の訪問プログラムでは、皇居二重橋、金閣寺、大阪城など、たくさんの日本の名所を見学した。美しさを鑑賞すると同時に、日本の歴史文化を深く感じ、理解を深めることができた。

国会議事堂は、まさに政治の地であるという厳粛で張り詰めた雰囲気満ちていた。東京タワーや京都国際マンガミュージアム、ATCエイジレスセンター、ダイハツ工業株式会社の工場、大阪市環境局舞洲工場、大阪市立阿倍野防災センターでは、高い科学技術や、細かいところまでよく考えられた老人介護、人の心と体をどちらも癒すことができる機能、人の負担を軽減することを目的に開発されたさまざまな補助ロボットなど、日本の近代文化の息遣いや、近代都市の雰囲気を、存分に感じる事ができた。

中でも一番印象深かったのは、もちろん学校交流とホームステイだ。学校では、グループに分かれいろいろな話題を出し合って交流した。言葉は通じなかったが、ボディラングージを使って交流したので、それほど問題はなかった。ホームステイでは、ホストファミリーが私のために個室を用意してくれていた。食事とても口に合った。2日目の予定についても、一々私の意見を聞いてくれた。彼らは、人のために物事を考えられる人たちだと思った。そして、親切で、とてもおもてなし上手だった。

今回の日本での交流を通じて、私の日本に対する理解は以前より深まり、更に日本が好

きになった。そしてこれから日本語を勉強しようと、より強く心に決めた。日本語が上達したら、また日本に来て、日本のすべてを感じたい。

○今回の日本の旅を通じて、私はたくさんを感じた。日本の美しい環境ときれいな空気は驚きだった。

名所見学や能楽体験もして、日本の伝統文化に触れることができた。日本の学校を訪問して、同年代の学生と交流し、一緒に授業時間を過ごした。そして幸運にも、日本の学生の家ホームステイし、ホストファミリーの温かいもてなしを受け、風土や人情に触れることができた。別れの時は本当に辛かった。短い時間だったが、日本の友達がたくさんできた。

日本での友好交流は、私達のような若者にとっては、とても大きな意味があったと思う。国を出て、直接、自分の目で相手の国を見ることができた。国籍が違って、言葉が通じなくても、目標は一つ、仲良く一緒に過ごすことだった。日本の進んだ科学技術や、悠久の歴史文化、和やかで親しみやすい日本人々に、私は強く惹き付けられた。

日本で体験したことを、家族や友達に話し、彼らにも日本に行ってほしいと思う。私達のような若い世代の考えや意見が、これからの中日関係を、とびきり新しい素晴らしい未来へ導くことができると信じている。

○日本各地の伝統文化を感じさせる街並みや建物が、とても印象的だった。そしてもっと重要なのは、今回の友好訪問の中で感じた日本人の友情だ。日本は初めてだったし、来る前にきちんと日本語を勉強したこともなかったので、着いたばかりの時、特にホームステイの前はとても緊張した。ホストファミリーと上手く交流できないのではないかと、自分の考えを相手に伝えられないのではないかと、礼儀正しい行動がとれないのではないかと不安だった。でも、ホストファミリーは、私を身に余るような待遇で迎えてくれた。そして私のためにいろいろなことをしてくれた。私のリュックサックのファスナーが壊れているのを知ると、新しいリュックサックを買いに連れて行ってくれた。私のためにちょうど良いサイズのリュックサックをあちこち探してくれたことを、今でも覚えている。夜には、どこへ観光に行くかを一緒に話し合い、私が寿司好きだと分かると、お昼にわざわざ回転寿司を食べに連れて行ってくれた。

判断を下す時は、想像だけに頼ってはいけない、実際に交流してみて初めて相手の考えを理解することができると知った。二つの国が平和に共存していけることを心から願う。日本人でなくても、伏見稲荷神社の神様は願いを聞き届けてくれるだろうか？あの「おもかる石※」は、私にはとても重く感じられた。つまり、目標までにはまだ距離があるということだろうか。それでも、日本と中国の平和共存と発展を願う。

※注：京都伏見稲荷大社・おもかる石：石灯籠の前で願い事を祈念し、石を持ち上げた時に感じる重さで願い事が叶うかどうかを試す。

○日本人は、驚くべき、敬うべき、愛すべき民族だ。

驚くべきとは、日本人の何事に対しても決して手を抜かない態度と、骨身を惜しまない精神だ。それが日本を世界で指折りの強国にした。他の国にとっては大きな驚きだ。

敬うべきとは、今回の数日間の訪問で、日本人と交流して知った「人が善を成すのを助ける」「お互いに我慢し受容れる」という彼らの文化と価値観だ。大いに尊敬に値するし、学ぶ価値があると思う。

愛すべきとは、滋賀のホストファミリーの家にホームステイした時と、高校を訪問した時に感じた、日本人の温かさと親切さ、そして親しみ易さだ。私は日本人が好きになった。

○和服は、着るにも畳むにも、精密な頭脳と器用な両手が必要だ。手順が多く複雑だが、着てみた感じはぜんぜん違って、日本の民族文化と、日本人独自の美意識、そして芸術の魅力に溢れていた。

今回初めて同年代の日本人と交流してみて、言葉が通じなくても、お互いの心と心は通い合うし、一緒に過ごした時間が短くても、友情は永遠に続くものだ実感した。

○ホームステイの時、ホストファミリーのおじさんとおばさんは、まるで私達が本当の子供であるかのように接してくれた。夜には、私達を連れてゲーム遊びをし、車で鹿探しにも連れて行ってくれた。二日目には、知り合いの家から自転車を借りてきて、森へ連れて行ってくれた。おばさんの作ってくれたご飯も、とてもおいしかった。別れる時には、現像した写真を一人一人に手渡してくれた。

帰国したら、家族や友達に、日本人は想像していたような恐ろしい人々ではなく、みなとても温かくて親切だったと伝えたい。中国と日本は大きな衝突をした過去があり、今の関係も良くないが、中国人と日本人が友達になれないことは決してない。学校交流の時、私達は多くの同年代の日本人と出会った。同じような趣味を持つ人もいたし、趣味は違ってもそれぞれ何かしらの共通点があって、良い友達になれた。

日本の旅は、短い時間だったが、私にたくさんの貴重な思い出を残してくれた。美しい滋賀県、親切な日本人、華やかな東京、きっと一生忘れない。

○今回の訪問を通じて、日本人の温かさと友情を強く感じた。滋賀県日野町でのホームステイでは、自然に触れ、日本の田園風景を満喫した。ホストファミリーの人々はやさしく、外の畦道を行けば、限りなく広がる緑の水田と、野山を埋め尽くす紅葉、青空にたなびく白い雲が眺められ、素晴らしいの一言に尽きていた。私達はホストファミリーと一緒に寿司も作った。家の中は温かい笑いと幸せに満ちていた。食後にはデザートとフルーツが用意され、私達の体への気遣いに、ホストファミリーの愛情を感じた。

私は、家族や友達に、日本の農村の経済面について話したいと思う。日本に比べ中国の農村は、天と地の差がある。日本では、家電設備も東京や大阪などの大都市とほとんど変わらない。

そして、もちろん日本の環境は素晴らしい。清潔で整備された街並み、道を横断する時の秩序や、人が優先されることなど、すべてが学ぶ価値がある。

○今回の訪日を通じて、ごみの分別から人々との交流や文化に至るまで、得るものがたくさんあった。一番印象深かったのは、ごみの分別と処理だ。日本に来るまで、私は日本の文化について全く知らなかったし、先生に連れられて、ただやって来たに過ぎなかった。でも何日か過ごすうちに、あらゆるところにごみ箱があることに気付いた。しかも、いく

つか並べて置かれている。それぞれに違う日本語が書かれ、役割が決まっているのだ。こうしてごみを分別して回収することで、その後の手間が減り、処理効率も上がる。中国も日本に学ぶべきだと思う。幸運にも、私はその後ごみ処理施設も見学することができた。その外観はごみ処理施設には全く見えなかった。そのような外観にすることで、周辺住民のごみ処理施設に対する嫌悪感を軽減できるのだという。とても勉強になったと同時に、中国の現状について考えさせられた。大量の人力がありながら、多くは就業困難な現状を、こうした小さな事を通じて、例えばより多くの人力をごみの分別問題の改善に利用すれば、環境、人力、就業、そして中国の国民全体の資質の向上に、とても大きな影響をもたらすことができるだろう。中国はとても大きい。しかし更に向上するためには、小さな事から一つずつ改善していく必要がある。